

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 15世紀後半から始まった大航海時代において、コロンブスが大西洋を横断する航海を行った主な背景と目的について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. オスマン帝国の台頭により従来の陸路が困難になったため、香辛料の産地であるアジアへの新航路を求めた。
2. 地中海貿易を独占していたイタリアの諸都市と協力し、アフリカ西海岸の開拓を進めるためであった。
3. ポルトガルの支援を受け、アフリカ南端の喜望峰を經由してインドへ到達するルートを確立するためであった。
4. 北アメリカ大陸にある金や銀の資源を独占し、イギリスやフランスの進出を阻止することが最大の目的であった。

問2 15世紀末にヨーロッパ人がアメリカ大陸近海へ到達したことが、現地の先住民社会に与えた深刻な影響について述べたものとして、最も適切な説明を選択してください。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症が蔓延し、先住民の人口が激減した
2. アジアとの直接貿易が始まったことで、先住民の伝統的な農耕文化が世界中に広まった
3. 先住民の言語がヨーロッパ諸国で公用語として採用され、独自の文明が保存された
4. イスラム教が急速に広まったことで、キリスト教諸国との対立が解消された

問3 16世紀から17世紀にかけて、日本の石見銀山で産出された銀が果たした役割について、当時の国際情勢を踏まえた説明として最も適切なものを選んでください。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 産出された銀は主にポルトガルや中国（明）へ輸出され、世界中に流通して国際経済に大きな影響を与えた
2. 銀は国内の通貨不足を補うために、海外への輸出が厳しく制限され、すべて国内の金座で管理された
3. 銀は当時の日本にとって主要な輸入商品であり、見返りとして日本からは大量の茶や磁器が輸出された
4. 石見銀山の銀は、軍事同盟の証としてヨーロッパ諸国の王室へ直接贈呈され、外交交渉の主導権を握るために使われた

問4 室町時代には、貴族や寺社に税を納める代わりに、商品の販売を独占する特権を得た「座」という商工業者の組織が活動していました。織田信長が安土城の下で行った、この「座」の特権を廃止し、税や労役を免除することで城下町の活発化を図った政策を何といいますか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 楽市・楽座
2. 分国法
3. 検地
4. 刀狩

問5 15世紀末、ポルトガルが危険な航海を経てアフリカ大陸を大きく回り込むインド航路を開拓しようとした経済的な目的として、最も適切なものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため
2. アメリカ大陸で発見された金や銀を安全にヨーロッパへ運ぶため
3. キリスト教を広めるため、アフリカ大陸の内陸部へ進出する拠点を築くため
4. アフリカ大陸の特産品である絹織物をアジア諸国に輸出するため

問6 16世紀半ばにヨーロッパから鉄砲が伝来したことは、その後の日本の社会や戦いのあり方にどのような影響を与えましたか。当時の状況を説明したものと、適切なものを選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 足軽による集団戦が主流となり、それに対応するために堅固な城郭が築かれるようになった。
2. 騎馬武者による一騎打ちがさらに重視されるようになり、合戦の規模が縮小した。
3. 鉄砲の製造は国内では行われず、すべてヨーロッパからの輸入に頼っていたため普及しなかった。
4. 鉄砲はあくまで儀式用の道具として扱われ、実際の戦場で使用されることはほとんどなかった。

問7 戦国時代の戦術に鉄砲をいち早く取り入れた織田信長は、軍事力の強化だけでなく、商工業を活性化させるための経済政策も積極的に行いました。信長が実施した、市場での税を免除し、座の特権を廃止して自由な商売を認めた政策の名称として正しいものはどれですか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 楽市・楽座
2. 刀狩令
3. 太閤検地
4. 分国法

問8 織田信長が安土城を拠点としたのに対し、その後を引き継いだ豊臣秀吉が、天下統一の拠点として近畿地方の交通の要所に築いた城はどれか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 大坂城
2. 安土城
3. 江戸城
4. 姫路城

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
オスマン帝国の台頭により従来の陸路が困難になったため、香辛料の産地であるアジアへの新航路を求めた。
- 当時のヨーロッパでは香辛料の需要が高まっていたが、陸上の交易路がオスマン帝国の勢力下に入ったことで、直接アジアへ向かう海路の開拓が急務となりました。スペインの援助を受けたコロンブスは、地球が丸いことを前提に、大西洋を西に進むことで最短でアジアへ到達できると考え、航海を開始しました。アフリカ回りの航路を重視したポルトガルとは対照的な戦略でした。
- 問2** **答え 1**
ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症が蔓延し、先住民の人口が激減した
- コロンブスらの到達以降、ヨーロッパからそれまでアメリカ大陸には存在しなかった天然痘、はしか、インフルエンザなどの感染症が持ち込まれました。これらの病気に対して免疫を持たなかった先住民は、植民地支配による過酷な労働や武力衝突と相まって、極めて短期間のうちに人口を大きく減らすこととなりました。この労働力不足を補うために、後にアフリカから多くの人々が奴隷として連れてこられるという歴史的背景があります。
- 問3** **答え 1**
産出された銀は主にポルトガルや中国（明）へ輸出され、世界中に流通して国際経済に大きな影響を与えた
- 石見銀山で増産された銀は、日本の歴史だけでなく世界史においても重要な位置を占めています。当時、世界で流通する銀の約3分の1が日本産であったと言われる時期もあり、その多くが石見銀山によるものでした。この銀はポルトガル船による南蛮貿易や、中国との交易（生糸の購入など）の主要な決済手段として使用され、東アジアやヨーロッパを含む広範な経済圏を支えました。
- 問4** **答え 1**
楽市・楽座
- 戦国時代以前は「座」と呼ばれる同族組織が特定の商品の販売権を独占していましたが、織田信長はこの独占を禁止しました。商工業者が自由に商売を行える環境を整えることで、各地から商人を呼び寄せ、城下町の経済的な発展と軍事的な安定を目指したのがこの政策の目的です。
- 問5** **答え 1**
香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため
- 当時のヨーロッパでは、肉の保存や調味料として不可欠な香辛料（コショウなど）の需要が高まっていた。しかし、それまでの陸路や地中海を経由するルートでは、イスラム勢力やイタリアの都市が仲介して高い利益を得ていました。ポルトガルは海路で直接インドへ向かうことで、これらの仲介を排除し、莫大な富を得ることを狙いました。
- 問6** **答え 1**
足軽による集団戦が主流となり、それに対応するために堅固な城郭が築かれるようになった。
- 鉄砲の伝来は、それまでの騎馬武者中心の戦術を、足軽の集団による一斉射撃を中心とした組織的な戦いへと激変させました。これに伴い、防御力の高い大規模な城が各地に築かれるようになり、戦国時代の終結と天下統一に向けた動きを加速させる要因となりました。
- 問7** **答え 1**
楽市・楽座
- 織田信長は、戦国大名が支配する城下町において、独占的な営業権を持っていた「座」を廃止し、市場の税を免除して誰でも自由に商売ができるようにしました。これを楽市・楽座といいます。この政策により、各地から商工業者が集まり、鉄砲の調達や兵糧の確保といった軍事的な優位性を築くための経済的基盤を整えました。
- 問8** **答え 1**
大坂城
- 豊臣秀吉は、水上交通と陸上交通の結節点であった大坂の地に巨大な城を築き、政治と経済の中心地としました。ここを拠点に全国の諸大名を服従させ、統一事業を完成させました。